

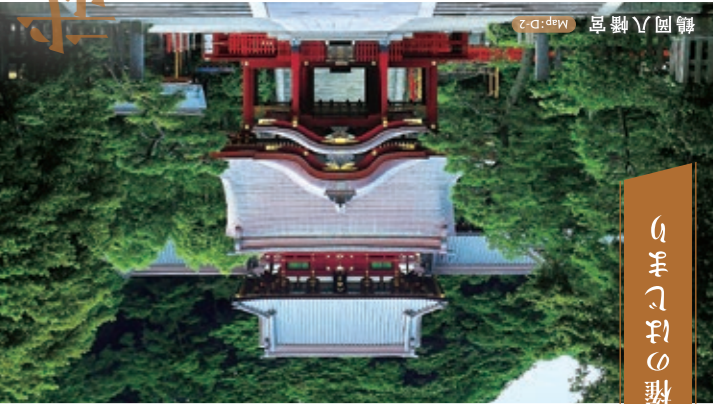


山と海に囲まれた地形を活かした鎌倉幕府のまちづくり。まちの基本構造は、幕府成立後の都市整備で確立しました。基軸となったのは、鶴岡八幡宮と海を一直線に結ぶ参道の若宮大路。山の尾根を垂直に掘り下げた切通で内外を結び、山裾には大寺院が建立されました。



朝夷奈切通 Map:E-2

12世紀末、源頼朝が鎌倉に幕府を開き、貴族社会から武家社会へ。鎌倉幕府の成立により、日本初の本格的な武家政権が誕生。その後700年続く武士の世が幕を開けました。人々の暮らしや文化も大きく変わり、新しい時代が鎌倉からはじまったのです。



武家政権のはじまり

日本史上の大革命。武士が頂点に立つ武家政権、誕生。

中国発祥の禅宗がもたらした茶の文化や美術工芸。禅宗の発展は、文化や芸術にも影響を与えました。禅僧・宋西は日本に茶を広めたことで知られ、鎌倉各所に建立された禅寺には宋風様式の建築物や仏具に施された彫刻などが残り、今もその美を感じられます。



浄智寺 Map:C-1

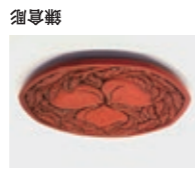
日本最初の禅専門道場・建長寺が建立され、一時は1,000人を超える僧侶が修行。日本で広く信仰されている禅宗は、実は鎌倉からはじまり、坐禅と問答による修行で悟りを開こうという教えが、鍛錬で武術を極めんとする武士の精神と深く結びつき、鎌倉幕府の庇護のもとで発展したのです。



禅のはじまり

武士の気風とマツチ。鎌倉に日本初の禅グループ到来。

別荘文化の発展に伴い、「鎌倉彫」が地域を代表する工芸品に。多くの富裕層が訪れるようになった鎌倉では、仏像などを調製品を製作するようになり、それが「鎌倉彫」として広まり、今では鎌倉を代表する工芸品となっています。



鎌倉彫

明治時代、保養地として脚光があたり、名士たちがこぞって別荘を建設。海浜保養地としての鎌倉の地域特性が認められたころ、横須賀線の開通をきっかけに、財政界の名士たちがこぞって別荘を建設。今もいくつかの別荘建築が残り、鎌倉独特の景観を作り出しています。



保養思想のはじまり

日本一美しいとも言われた地で、華開いた別荘文化。

鎌倉文士は地域の景観を守り、新しい文化も創出。鎌倉文士の功績は文学だけに留まりません。市民とともに暮らし、盛り立てる存在でもありました。



ほんぼり(雪洞)祭

戦時下で、文学を守るために立ち上がった「鎌倉文士」たち。明治～昭和の鎌倉には多くの文豪が暮らし、「鎌倉文士」と呼ばれました。戦時中に言論が弾圧されるなか、彼らは主義主張を越えて団結、文学雑誌の創刊などを通して、文学の復興を目指したのです。



文学復興のはじまり

文学復興の第一歩は多くの文豪が集った鎌倉から。

観光名所として有名な構成文化財も！



浄妙寺 Map:D-2

足利義兼により創建された禅寺。境内にある茶席「喜泉庵」では、枯山水庭園を眺めながら抹茶とお茶菓子を堪能できます。



銭洗弁財天宇賀福神社 Map:C-2

源頼朝が夢でお告げを受けて創建。神社の水でお金を洗うと倍になると言われる、鎌倉を代表するパワースポット。



瑞泉寺 Map:E-2

禅僧であり作庭家でもあった夢窓疎石が開山。疎石が手がけた岩の庭園が有名で、境内では早春の梅や冬のスイセンなど、四季折々の花が楽しめる花の寺。



成就院 Map:C-4

北条泰時が建立し、現在は良縁成就の寺院として知られています。108段の階段を登った先には、山と海に囲まれた鎌倉を一望できる絶景スポットが。

日本遺産 鎌倉 周遊MAP

歴史や文化の“はじまり”を巡る旅へ

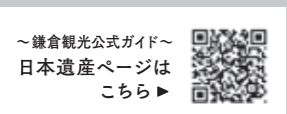
ここから、それから、がまぐら。

ここ鎌倉から拓けた新しい歴史や文化、思想がありました。

鎌倉といえば、風情のあるまち。多くの歴史的建造物と四季折々の自然が調和したまちなみには、まさに古都ならではの情緒があります。でも、鎌倉の魅力はそれだけではありません。実は「禅」や「文学」などとも深い関わりがあるまちなのです。いざ、鎌倉からはじまった歴史や文化、思想を巡る旅へ。道の先できっと、あなたの知らない鎌倉の面白さや新しい発見に出会えるはずです。



いざ、鎌倉 歴史と文化が描くモザイク画のまちへ



～鎌倉観光公式ガイド～ 日本遺産ページはこちら▶



明月院 Map:C-1

報国寺 Map:D-2

古我邸 Map:C-2

朝夷奈切通 Map:E-2